

令和4年度 第56回 中学生の「税についての作文」
まちだ納税貯蓄組合連合会優秀賞

「税金を納める意味」

町田市立山崎中学校 3学年 森下 梨々華

中学生で「税とそのゆくえについて」を詳しく理解している人は、何人いるのだろう。今まで税金のことについて何の関心ももっていなかったため知識も乏しく、周りが気になり始め、不安になった。私が知る税金といえは、大学生になってバイトをし始めた兄が所得税のことを気にかけていたことや、両親が自動車税と固定資産税の通知を眺めながら浮かない表情をしていたことだった。そして私自身は、消費税を気にしながら買い物をしている。このことからどうしても「税金は支払いをしている」という印象だけが残った。同じように感じている人も、いるのではないだろうか。その一方で、私たちが通っている学校も税金によってつくられている。その他にも、勉強するのに必要な教科書を配布してもらい感謝している。このことから、私は税金制度には賛成だ。しかし、税金の支払いは義務である以上絶対守らなければならないから、大変だといえるだろう。だからこそ、税金は、正しいことに使われるべきだと強く言いたい。

近隣に小学校の頃からずっと工事をしている場所があった。何が建つのか密かにかなり気にはなっていた。その後、二〇二〇年四月十七日に「町田薬師池公園四季彩の杜西園」がオープンした。施設は、主に四つあり、町田産の食材を使ったメニューが食べられるカフェ・レストランがある。「薬師バーガー」や町田を拠点とする北島牧場のしぼりたて牛乳を使用して作られた「薬師ソフトクリーム」が大人気だ。その中でも、町田の名産品であるブルーベリーをふんだんに使っているソフトクリームは、珍しいと思った。隣には、ラボ・体験工房がある。また、訪れた人がゆつくりとくつろげるライブラリー・ラウンジもあり、入り口付近には、新鮮な町田産野菜、厳選された名産品などが並ぶ直売所も好評だ。裏側には、農園や果樹園がある。町田薬師池公園四季彩の杜西園は、税金が使われている「まちだ未来づくりプラン」の重点事業の一つだ。行政の狙いどおり、子供からお年寄りまであらゆる世代の人が利用できるすばらしい施設になるように考えられていると改めて実感した。このような税金の使われ方には納得感があり、とてもうれしい。住みやすいまちづくりを目指す上でも理想的だ。

税金制度を学んだり、調べたりして勉強することは社会を知る意味でもいいきっかけとなった。調べてみると税金の種類は五〇もあるという種類の多さにも驚かされた。日本は、租税法主義で税金にはきちんとした法律の裏付けがないといけないらしい。このことを知って、税金を納めること自体は悪いことではないが、自分自身のためにもなっているということがあまりよくわかっていなかったと思う。そのことに気づかされ、税金に対して以前の考えから、さらにプラスの印象へと変わっていった。